



# 2021年3月期 決算説明資料

株式会社タカミヤ（東証一部 証券コード：2445）

〒530-0011

大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階



## アジェンダ

- トピック
- 2021年3月期 連結業績のご説明



## トピック

2021年03月18日

アナリストによる企業レポート

2021年04月21日

指名・報酬委員会設置に関するお知らせ

2021年04月27日

業績予想の修正および役員報酬の自主返納に関するお知らせ

2021年05月12日

役員の異動に関するお知らせ

上記の他、各種リリース。IR情報は弊社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.takamiya.co/>



## 会社概要

商号	株式会社タカミヤ
設立	1969年6月21日
代表者	代表取締役会長兼社長 高宮一雅
資本金	10億5,011万円
従業員数	連結：1,221名 単体：711名※2021年3月末時点
登記本社	大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワー B 27階



【支店】東北仙台、茨城、東京、新潟、名古屋、大阪、中四国、九州福岡（計8）  
【営業所】札幌、盛岡、福島、鹿島、市原、北陸、福井、長野、静岡、京滋、神戸、広島、沖縄（計13）  
【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台第二、福島広野、新潟横越、新潟長岡、茨城中央、茨城つくば、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川愛川、信州長野、静岡吉田、石川金沢、福井鯖江、東海木曾岬、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、和歌山桃山、兵庫東条、兵庫神戸、広島志和、香川さぬき、沖縄那覇センター（計28）

連結子会社	<国内：7社> (株)イワタ、(株)ヒラマツ、(株)青森アトム、(株)トータル都市整備、(株)ネクステック、(株)キャディアン、(株)ナカヤ機材 <海外：3社> ホリーコリア(株)、ホリーベトナム(有)、DIMENSION-ALL INC.（計10社）
-------	--

株式上場	2005年06月 JASDAQ証券取引所 <small>(注) 2008年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました</small>
	2007年12月 東京証券取引所市場第二部
	2014年12月 東京証券取引所市場第一部指定



# 1. 連結業績サマリー

## 1.1 概況

- ✓ 上期は、新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退により先行き不透明な状況の中、販売事業では仮設機材の販売が進まず、レンタル事業では大型現場の終了に伴う機材返却により稼働率が伸び悩み、また、海外事業では外出・移動制限により建設工事が進まない状況でした。その結果、前期と比べ、売上高11.6%減、営業利益42.7%減と減収減益となりました。
- ✓ 3Qは、本来繁忙期となりますが、上期において緊急事態宣言が発令され、下期に向けた営業活動が制限されたことなどにより、下期の出荷が伸びず、引続き厳しい状況で推移しました。
- ✓ 4Qは、販売事業では年度末にかけて成約が相次ぎ、回復基調になるものの、レンタル事業は3Qの出荷ピークが見られず、年度末の機材返却をむかえ稼働率が低下、海外事業は外出・移動制限が継続された結果、前期と比べ、減収減益が進みました。



# 1. 連結業績サマリー

## 1.2 4月27日 業績予想の修正発表

(単位：百万円)	当初予想	修正予想	前期増減 (Y/Y)		(ご参考) 2020年3月期 実績
			金額	比率	
売上高	40,750	<b>38,800</b>	△1,950	△4.8%	46,065
営業利益	2,200	<b>1,580</b>	△620	△28.2%	3,703
経常利益	2,000	<b>1,560</b>	△440	△22.0%	3,541
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,270	<b>850</b>	△420	△33.1%	2,370
1株当たり当期純利益	27.27円	<b>18.25円</b>			52.74円
1株当たり配当金	14.00円	<b>14.00円</b>			14.00円



# 1. 連結業績サマリー

## 1.3 通期連結業績

連結業績 (単位：百万円)	2021年3月期 予想 (修正後)		2021年3月期 実績		2020年3月期 実績		対前年 増減率
		売上高比		売上高比		売上高比	
売上高	38,800	100.0%	38,812	100.0%	46,065	100.0%	△15.7%
売上総利益	-	-	10,996	28.3%	14,014	30.4%	△21.5%
販管費	-	-	9,410	24.2%	10,311	22.4%	△8.7%
営業利益	1,580	4.1%	1,586	4.1%	3,703	8.0%	△57.2%
経常利益	1,560	4.0%	1,569	4.0%	3,541	7.7%	△55.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	850	2.2%	857	2.2%	2,370	5.1%	△63.8%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	18.25円	-	18.41円 (17.89円)	-	52.74円 (51.28円)	-	-
一株当たり配当金	14.00円	-	-	-	-	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)	-	-	4,815	12.4%	4,804	10.4%	+0.2%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	-	-	6,402	16.5%	8,508	18.5%	△24.7%



# 1. 連結業績サマリー

## 1.4 売上高&営業利益の増減要因

**売上高：7,253百万円減**

(前年同期比  $\Delta$ 15.7%)

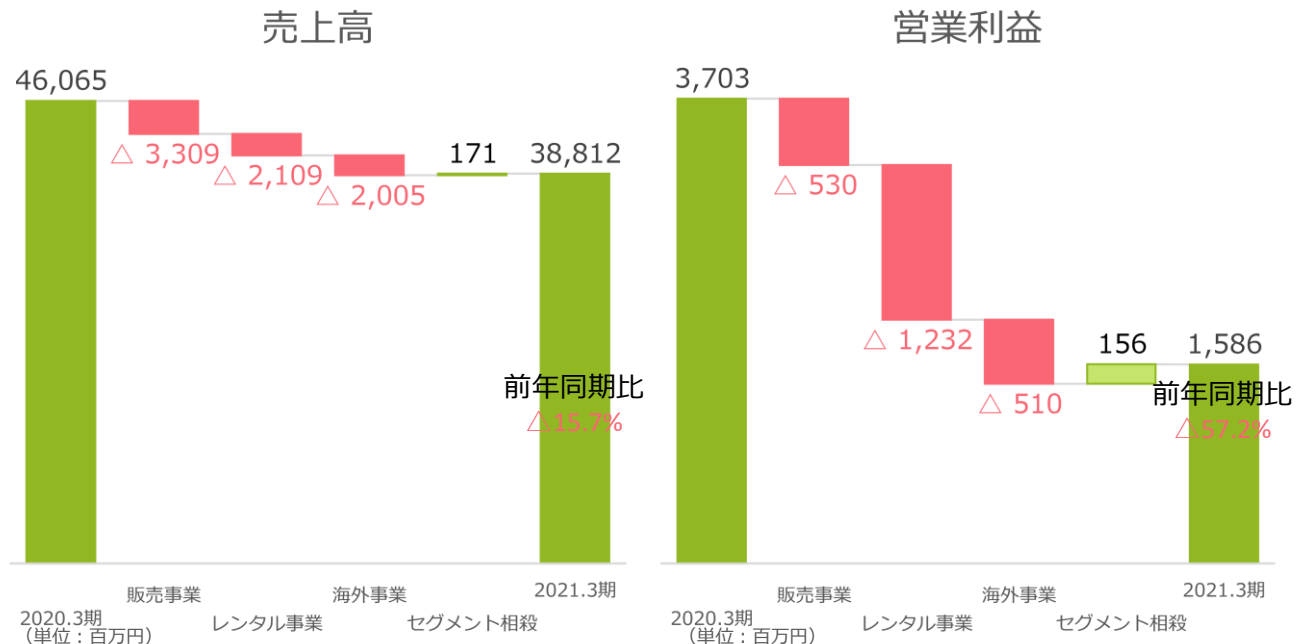
✓ 全事業で減収

**営業利益：2,116百万円減**

(前年同期比  $\Delta$ 57.2%)

✓ 全事業で減益

※セグメント相殺の増加はグループ内の取引の減少によります。





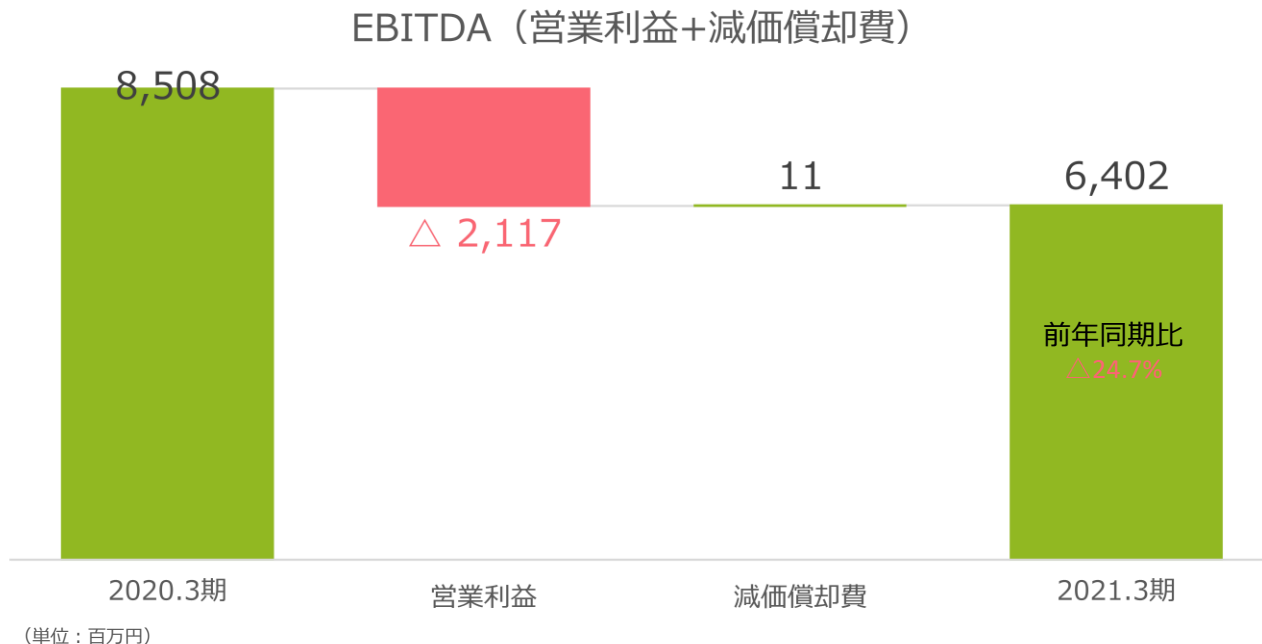


# 1. 連結業績サマリー

## 1.5 EBITDA (営業利益+減価償却費)

**EBITDA : 2,106百万円減**  
(前年同期比 :  $\Delta 24.7\%$ )

- ✓ 営業減益が主要因となります。
- ✓ 減価償却費は、横這い。





# 1. 連結業績サマリー

## 1.6 セグメント別業績

✓ 全事業でコロナ・経済環境悪化により減収減益。

	売上高			セグメント営業利益 (セグメント営業利益率)		
	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比
販売	15,299	<b>11,990</b>	△21.6%	1,934 (12.6%)	<b>1,404 (11.7%)</b>	△27.4%
レンタル	26,118	<b>24,009</b>	△8.1%	3,025 (11.6%)	<b>1,793 (7.5%)</b>	△40.7%
海外	7,306	<b>5,300</b>	△27.5%	410 (5.6%)	<b>△99 (-)</b>	-



## 2. 販売事業

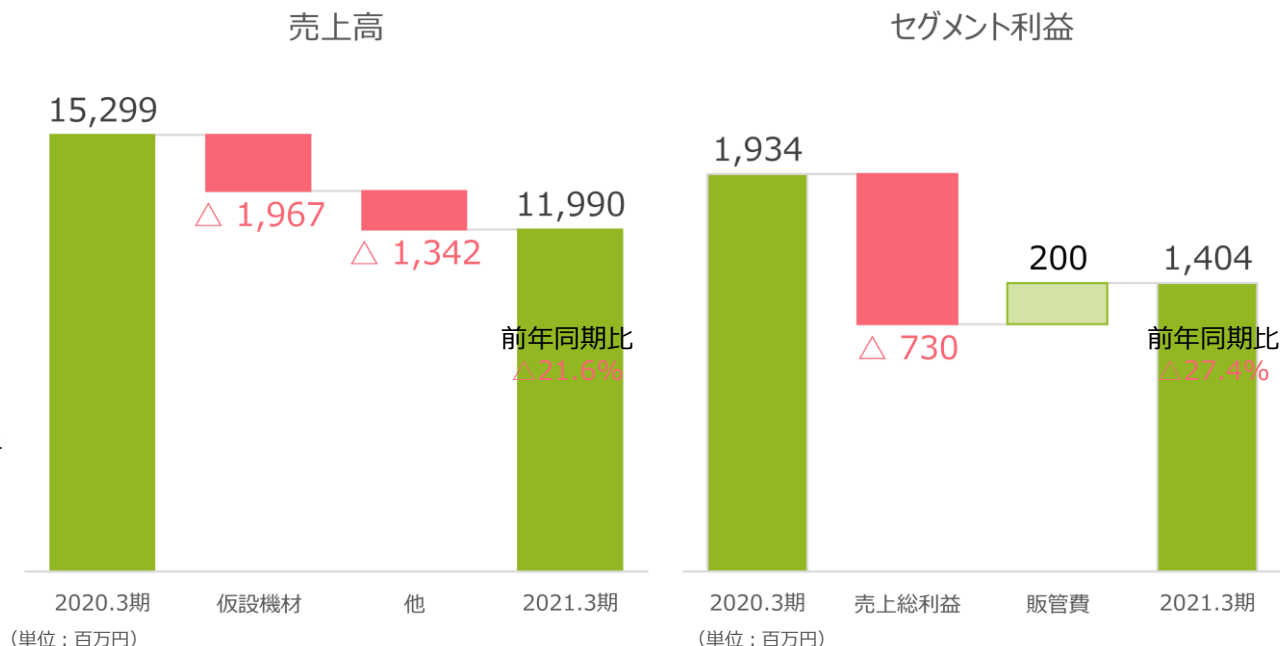
### 2.1 対前年同期比較増減要因

#### 売上高：△3,309百万円（減収）

- ✓ Iqシステムおよび周辺機材（仮設機材）の販売は、4Qで成約に至ったものの、回復までには至らず前年比で減少しました。

#### 営業利益：△530百万円（減益）

- ✓ 減収のため、利益も減少しました。
- ✓ 販管費は、新型コロナで移動制限等を実施し関連経費が減少しました。また、前期は50周年事業経費の計上があり、前年比で減少しました。

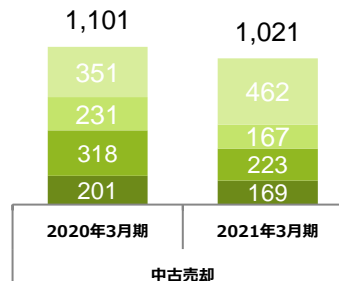
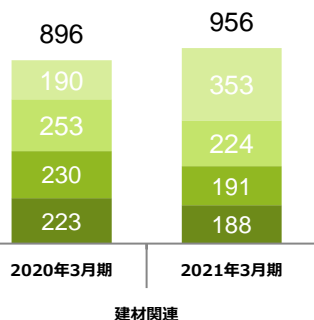
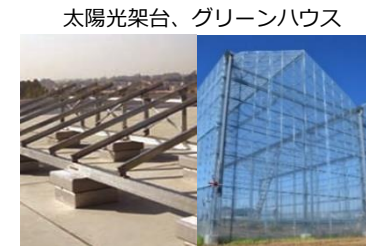
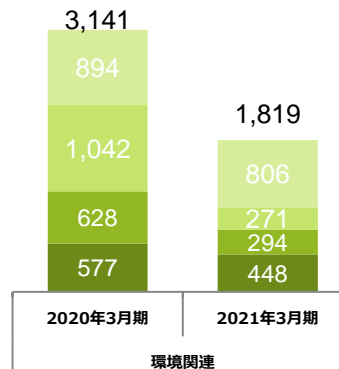
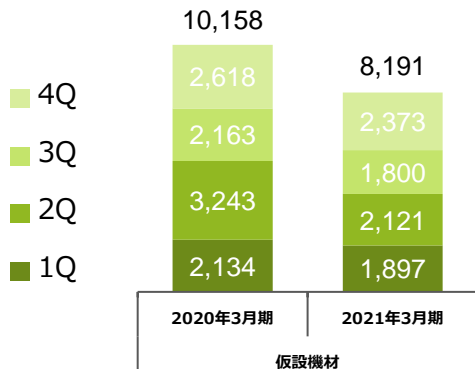




## 2. 販売事業

### 2.2 分野別売上高

建材関連の構造機材が増加するものの、仮設機材、環境関連が大きく減少。



※百万円以下を四捨五入  
(単位：百万円)

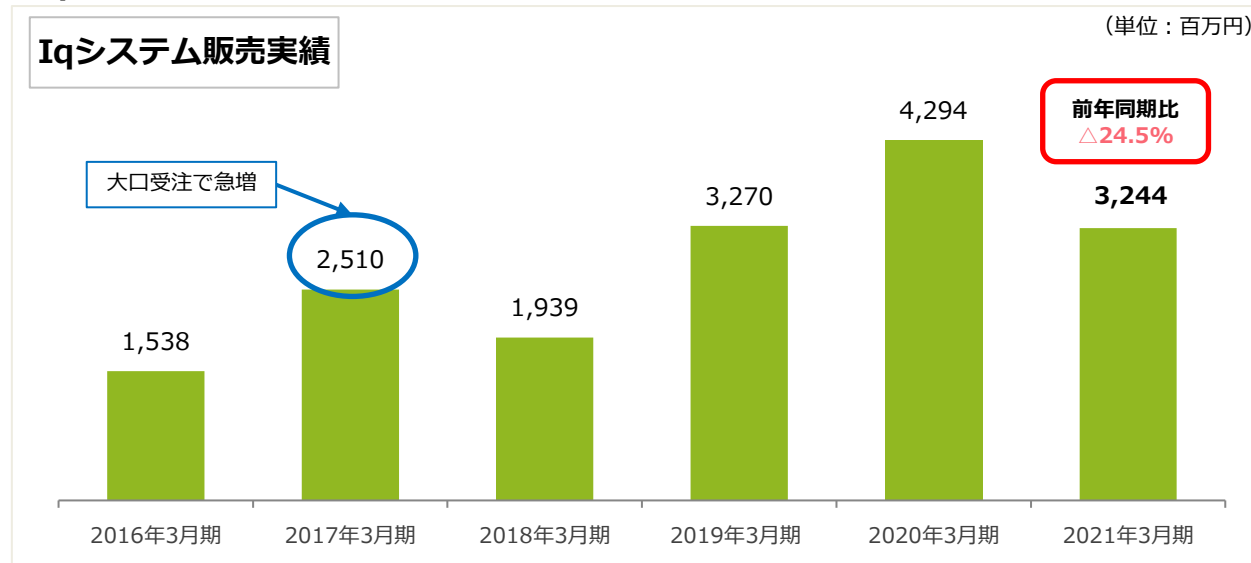
修正) 20.3期3Q 230⇒231



## 2. 販売事業

### 2.3 Iqシステム販売額

Iqシステムの販売が前年同期比24.5%減（△1,050百万円）、案件は多いものの成約に時間を要しています。



**Iqシステム累計販売額**  
**175億円**

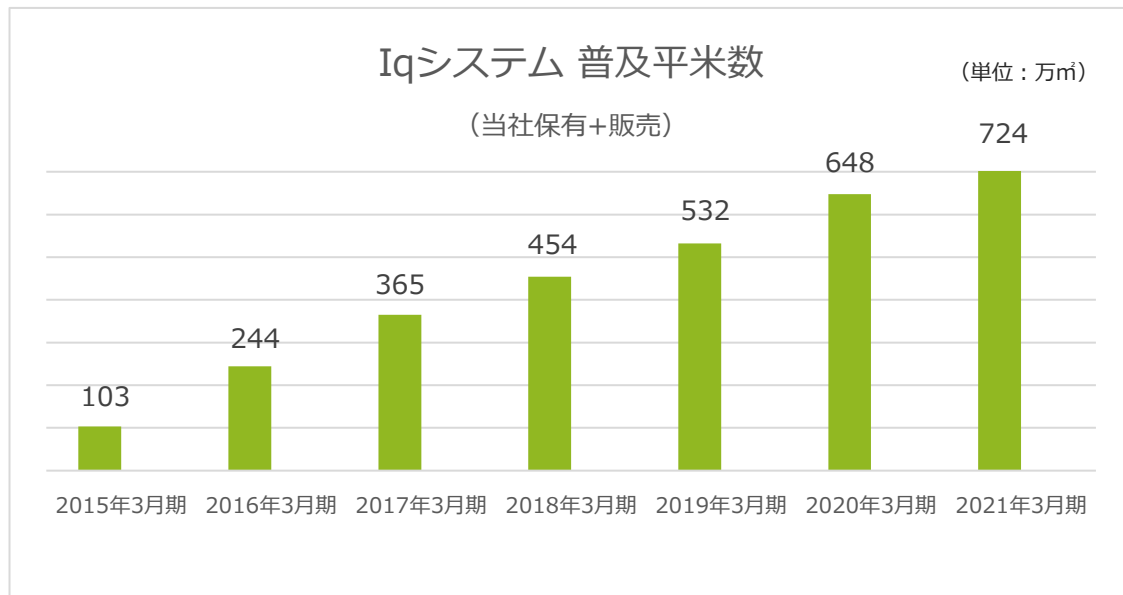
※当社販売分のみ



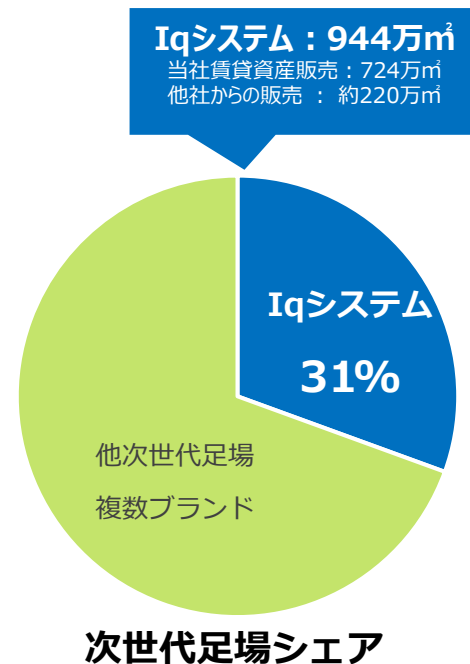
## 2. 販売事業

### 2.4 Iqシステム 普及平米数

#### 業界での次世代足場普及は堅調



※販売額と賃貸資産保有額から独自試算



※円グラフは当社調べ



## 3. レンタル事業

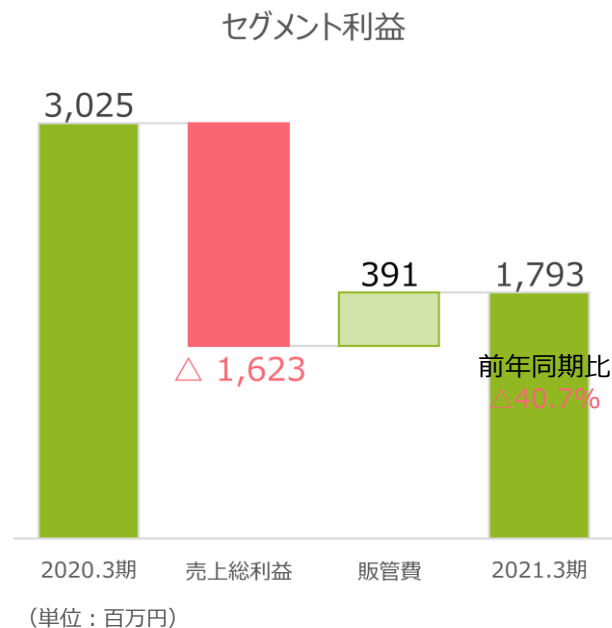
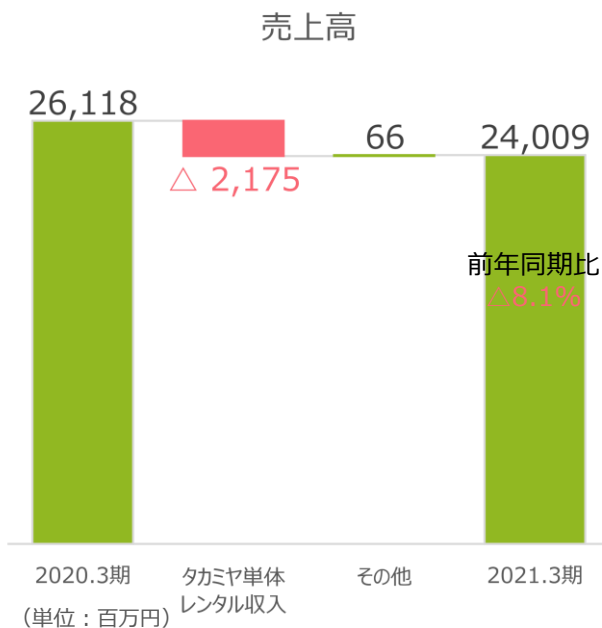
### 3.1 対前年同期比較増減要因

#### 売上高：△2,109百万円（減収）

- ✓ 大型現場終了に伴う仮設機材の返却による貸出量の低下、維持補修工事の着工の延期により、減収となりました。

#### 営業利益：△1,232百万円（減益）

- ✓ 売上高の減少、機材整備費の増加などにより利益が減少しました。
- ✓ 販管費は、新型コロナで移動制限等を実施し関連経費が減少しました。また、前期は50周年事業経費の計上があり、前年比で減少しました。



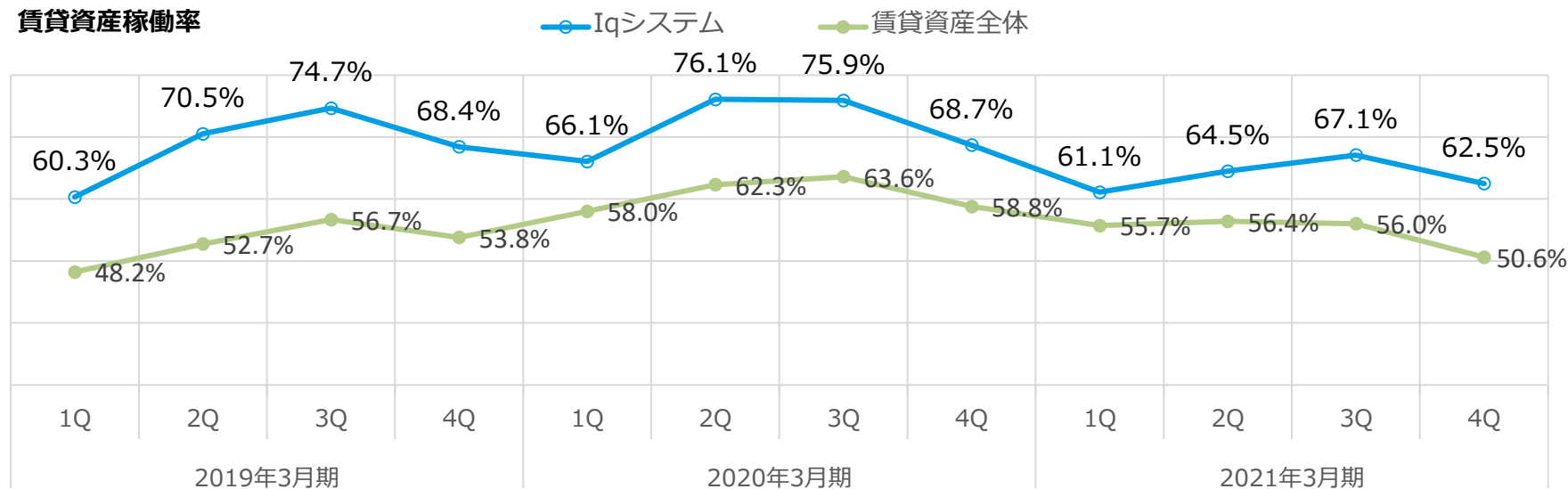


### 3. レンタル事業

3.2 機材平均稼働率推移 ※稼働率のトレンドは例年3Qが頂点の山型 ※稼働率 = 貸出量 / 保有資産

大型現場終了に伴う機材返却と工事の中断や延期により例年のトレンドとはならず、年度末の返却により低下

賃貸資産稼働率







## 3. レンタル事業

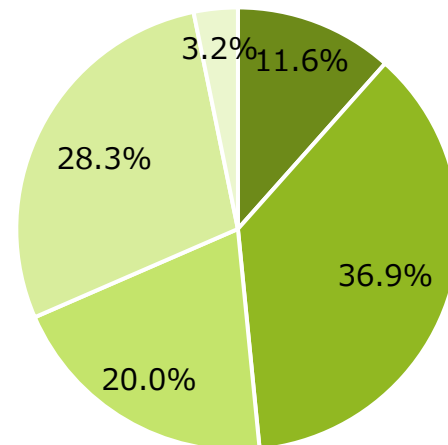
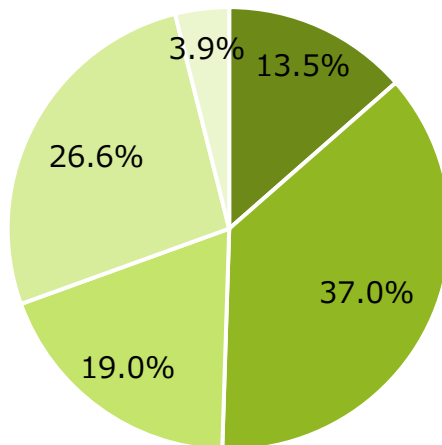
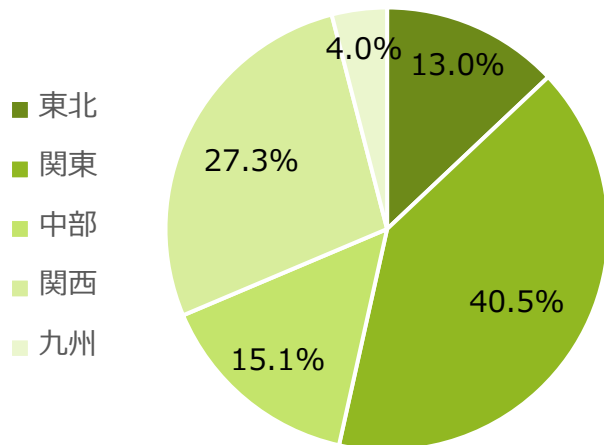
### 3.3 ブロック別売上高比率

中部での上期の土木関連売上が貢献。東北は復興需要一巡し、低調。

2019年3月期

2020年3月期

2021年3月期



※中四国ブロックは関西ブロックに含まれています。



## 4. 海外事業

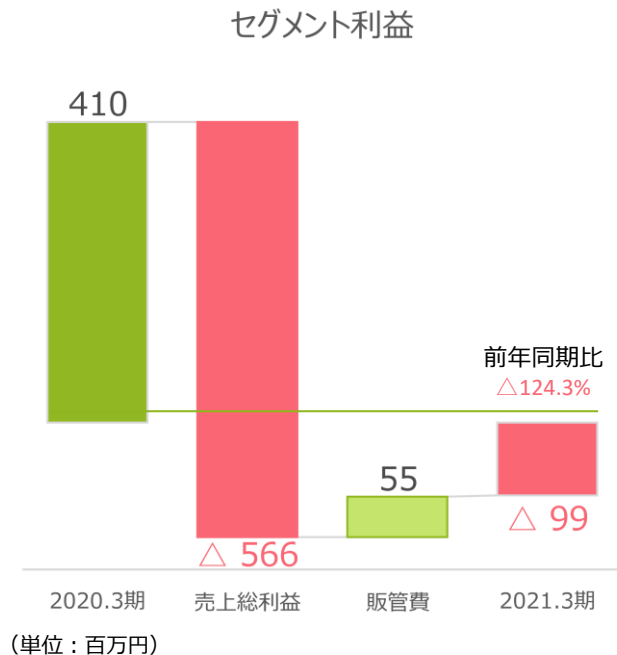
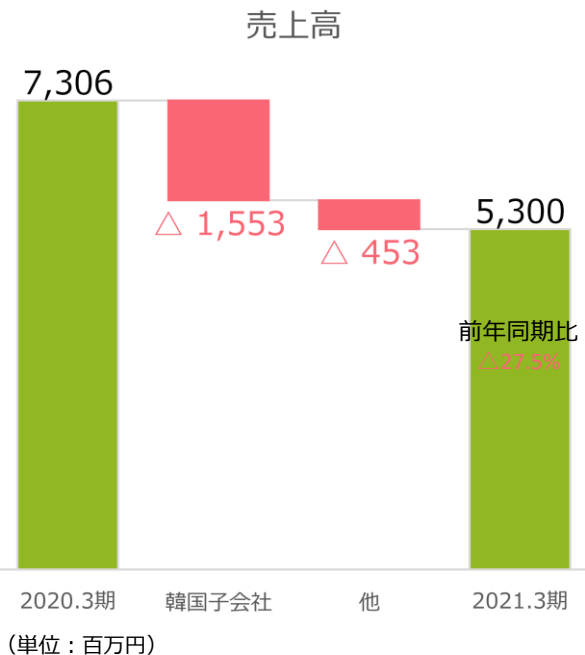
### 4.1 対前年同期比較増減要因

#### 売上高：△2,005百万円（減収）

- ✓ フィリピンの首都圏の外出・移動制限措置により事業活動が制限され、大幅な減収となりました。
- ✓ 韓国は、経済環境の悪化、与信不安先への供給見送りなどにより売上高が減少しました。

#### 営業利益：△510百万円（減益）

- ✓ フィリピンの事業活動制限による売上高減少が大きく影響しました。
- ✓ 新型コロナでの移動制限、事業活動制限などにより販管費は前年比を下回りました。

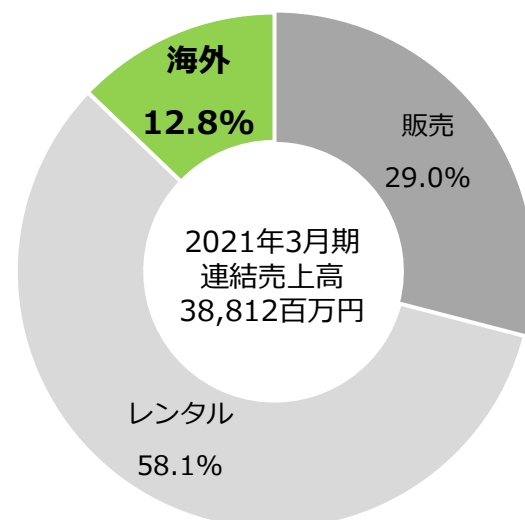
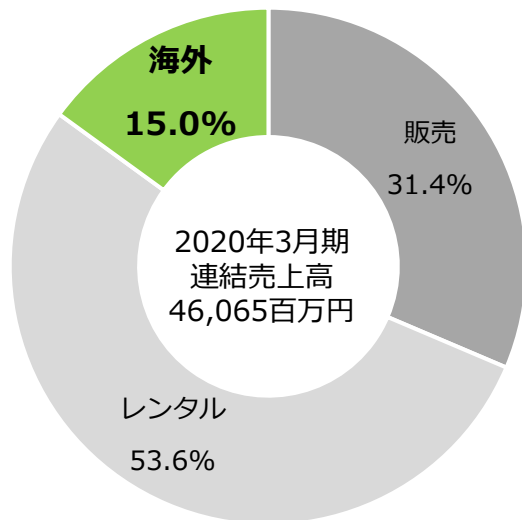
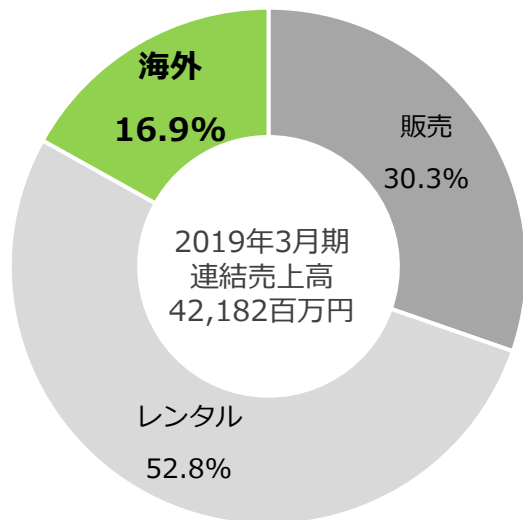




## 4. 海外事業

### 4.2 セグメント別売上高比率

海外事業はフィリピンの事業活動制限、韓国の経済環境の悪化による売上高減少により、連結売上高に占めるシェアが低下。



※「セグメント別売上高比率」はセグメント間消去前の売上高で算出しています。



## 5. 連結貸借対照表

売上高減少に伴い売掛金が減少。総資産が減少し、自己資本比率は32.3%（前期末：30.5%）

【資産の部】（単位：百万円）

### 流動資産

現金及び預金 : 8,032 (+789)  
 受取手形及び売掛金 : 11,675 (△2,425)

### 固定資産

賃貸資産（純額） : 13,212 (△1,695)

### 【負債の部】

#### 流動負債

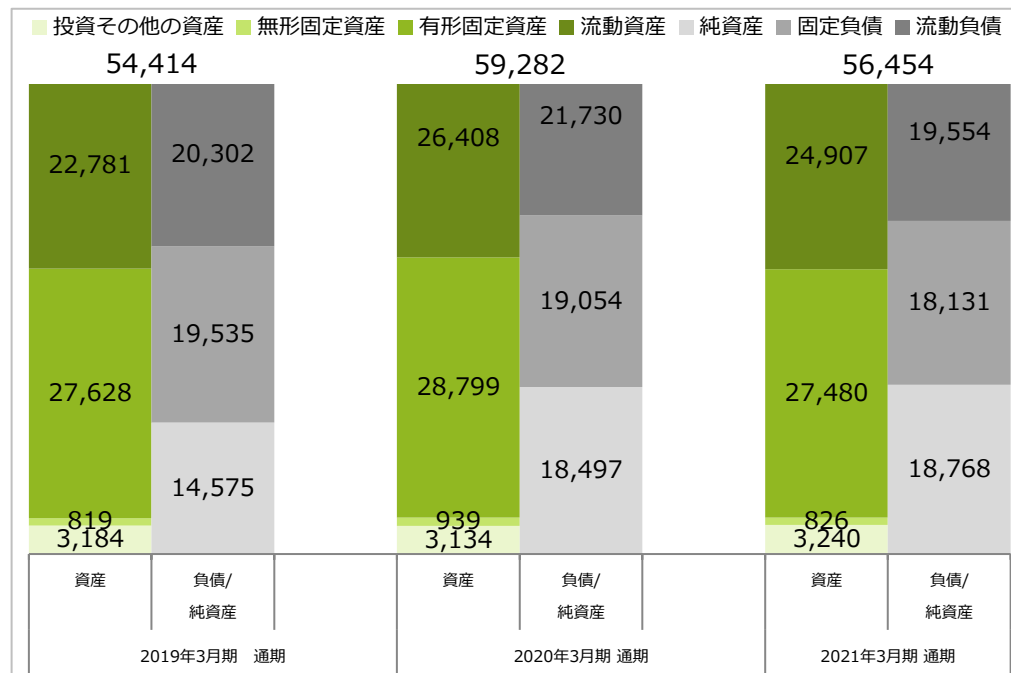
支払手形及び買掛金 : 5,668 (△758)  
 短期借入金 : 3,478 (△1,922)

#### 固定負債

長期借入金 : 11,354 (△469)

#### 純資産

株主資本合計  
 （資本金、利益剰余金、他） : 18,347 (+205)



（単位：百万円）

※（）内は対前期末からの増減



## 6. キャッシュフロー計算書

投資CFは抑制により支出減少、財務CFは新型コロナウイルス対応の手元資金を返済により支出増加

(単位：百万円)

### 【営業キャッシュフロー】

税金等調整前四半期純利益	:	1,458百万円
減価償却費	:	4,815百万円
売上債権の減少（△：増加）	:	2,546百万円
賃貸資産の取得による支出	:	△909百万円
たな卸資産の増減額（△：増加）	:	△1,596百万円
仕入債務の増減額（△：減少）	:	△800百万円

### 【投資キャッシュフロー】

有形固定資産の取得による支出	:	△1,209百万円
無形固定資産の取得による支出	:	△188百万円

### 【財務キャッシュフロー】

短期借入金の純増減額（△：減少）	:	△1,992百万円
配当金の支払額	:	△651百万円

	2019年3月期	2020年3月期
税金等調整前当期純利益	3,640	1,458
営業キャッシュフロー小計	3,771	5,035
投資キャッシュフロー小計	△3,836	△1,382
財務キャッシュフロー小計	1,590	△2,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,508	789
現金及び現金同等物の期首残高	5,414	6,922
現金及び現金同等物の期末残高	6,922	7,712



## 7. 株主還元

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
<b>配当金</b>	<b>10円</b>	<b>11円</b>	<b>11円</b>	<b>14円</b>	<b>14円</b>
内訳) 1Q	-	-	-	-	-
2Q	3.5円	4.0円	4.0円	6.0円	6.0円
3Q	-	-	-	-	-
4Q	6.5円	7.0円	7.0円	8.0円	8.0円
配当金額総額	428百万円	471百万円	471百万円	651百万円	651百万円
配当性向	28.5%	37.6%	28.8%	26.5%	76.0%
自社株買い	529百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円
総還元性向	63.2%	37.6%	28.8%	26.5%	76.0%
自己資本配当率 (配当性向×ROE)	3.6%	3.7%	3.5%	3.9%	3.6%
ROE	12.6%	9.8%	12.0%	14.7%	4.7%



# 2021中期経営計画のご説明

株式会社タカミヤ（東証一部 証券コード：2445）

〒530-0011

大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階



# 前中期経営計画 振り返り

連結業績サマリー

## 前中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）

連結業績 (単位：百万円)	2018年3月期 実績		2019年3月期 実績		2020年3月期 実績		2021年3月期 実績	
		売上高比		売上高比		売上高比		売上高比
売上高	36,114	100.0%	42,182	100.0%	46,065	100.0%	38,812	100.0%
売上総利益	10,431	28.8%	12,132	28.8%	14,014	30.4%	10,996	28.3%
販管費	8,740	24.2%	9,418	22.3%	10,311	22.4%	9,410	24.2%
営業利益	1,690	4.7%	2,713	6.4%	3,703	8.0%	1,586	4.1%
経常利益	1,610	4.5%	2,662	6.3%	3,541	7.7%	1,569	4.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,252	3.5%	1,637	3.9%	2,370	5.1%	857	2.2%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	29.26円	－	38.22円	－	52.74円 (51.28円)	－	18.41円 (17.89円)	－
一株当たり配当金	11.00円	－	11.00円	－	14.00円	－	－	－
減価償却費 (CF計算書ベース)	4,662	12.9%	4,777	11.3%	4,804	10.4%	4,815	12.4%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	6,353	17.6%	7,491	17.8%	8,508	18.5%	6,402	16.5%

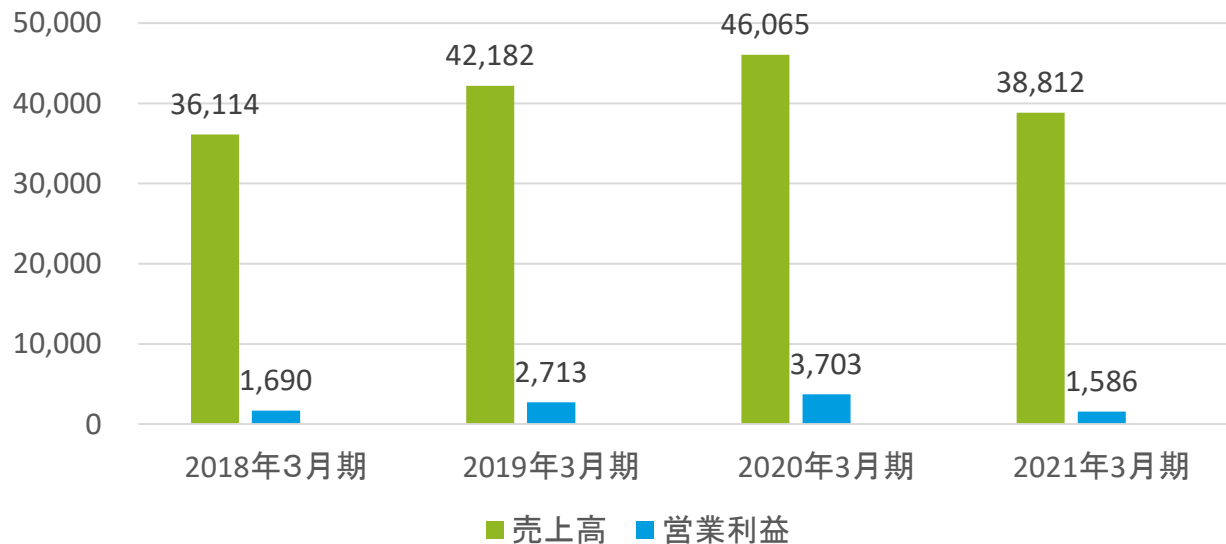




## 前中期経営計画 振り返り

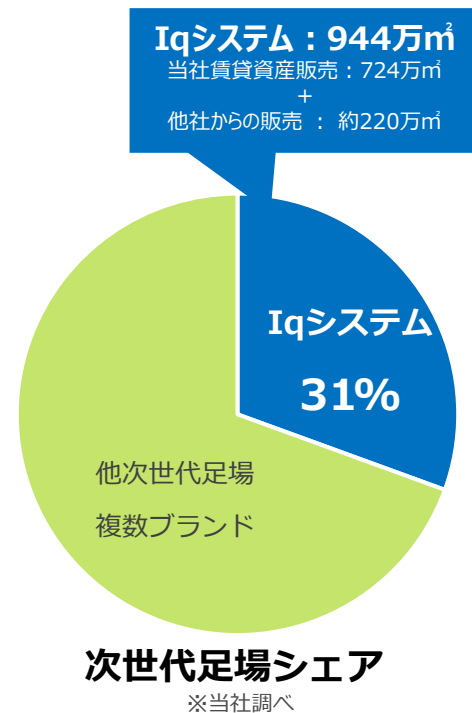
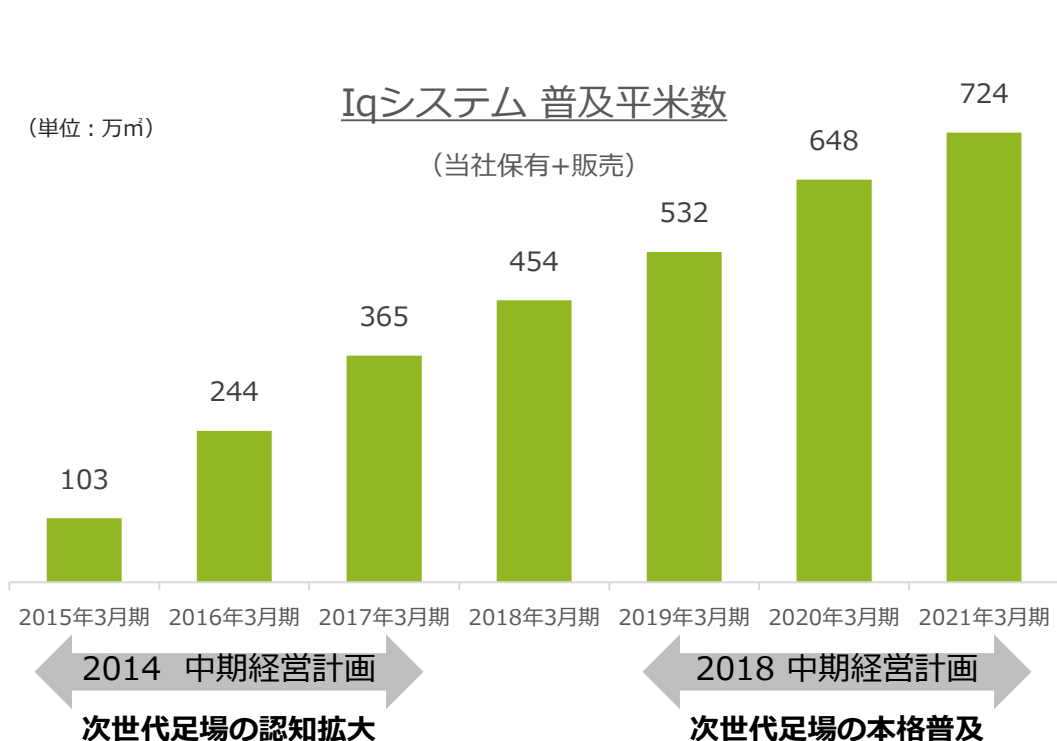
連結業績サマリー

(単位：百万円)





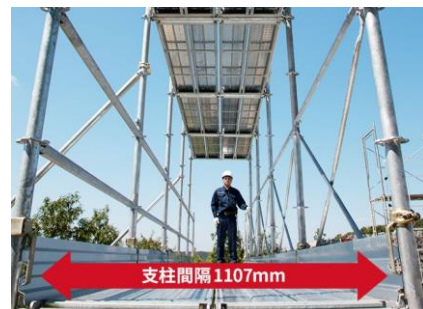
## デファクトスタンダードの獲得 Iqシステム





## 次世代足場 Iqシステム

圧倒的な作業空間と優れた安全性を提供





## 基本戦略 ハードとソフトを融合したサービスの開発

### レンタル事業

機材管理・運搬

足場計画図面（設計）

足場の組立・解体（施工）

### 販売事業

開発・製造



### ソフト (5本の矢)

開発・製造

販売

レンタル

設計（足場計画図面）

施工（足場の組立・解体）

管理・物流（機材管理・運搬）

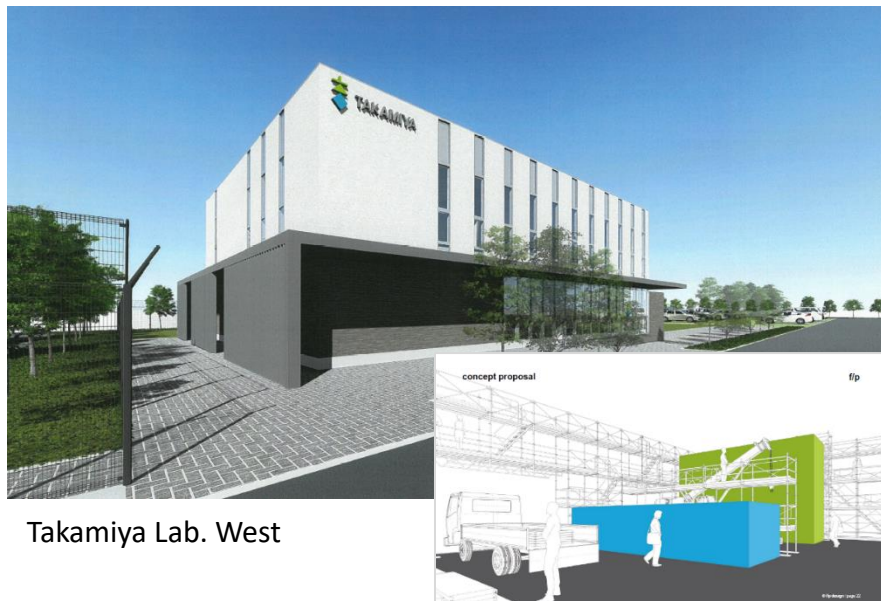
### ハード

× I q システム



# Takamiya Lab. West (タカミヤ ラボ ウエスト)

仮設機材ビジネスの新たな可能性



Takamiya Lab. West

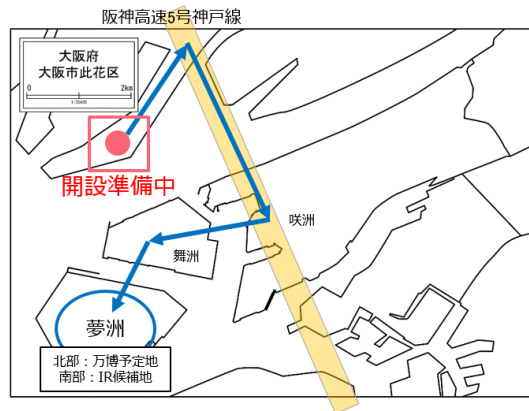
※画像は計画段階のイメージで実際の建物と異なる可能性があります。

## 顧客メリット

- 都市部の工事現場から近く、足場の運搬コスト、時間短縮。サンプル品、試験施工の確認が容易

## 当社メリット

- 顧客との接触機会が増加。人材確保。新商品展示会等。



土地面積：約17,500坪

大阪・兵庫 都市部、大阪湾岸部開発地へ好アクセス



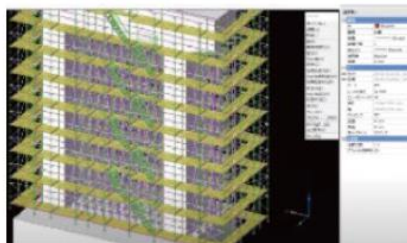
## ハードとソフトの融合で生まれる新サービス

### 例) 設計 × Iqシステム = 仮設機材の自動積算, 仮設BIM

#### 部材情報の見える化

一部、または全体の部材情報確認や  
費用の算出作業を効率化

タカミヤオリジナルの機能を使えば、部材数量の算出も、直感的な操作でカンタンに。BIM画面上の3D図面で必要な範囲をサッと選択するだけで部材数量を算出できるので、費用の算出も手間なくスムーズに行うことができます。CSVでの出力にも対応しているので、共有も容易です。



BIMの画面上で必要な範囲を選択

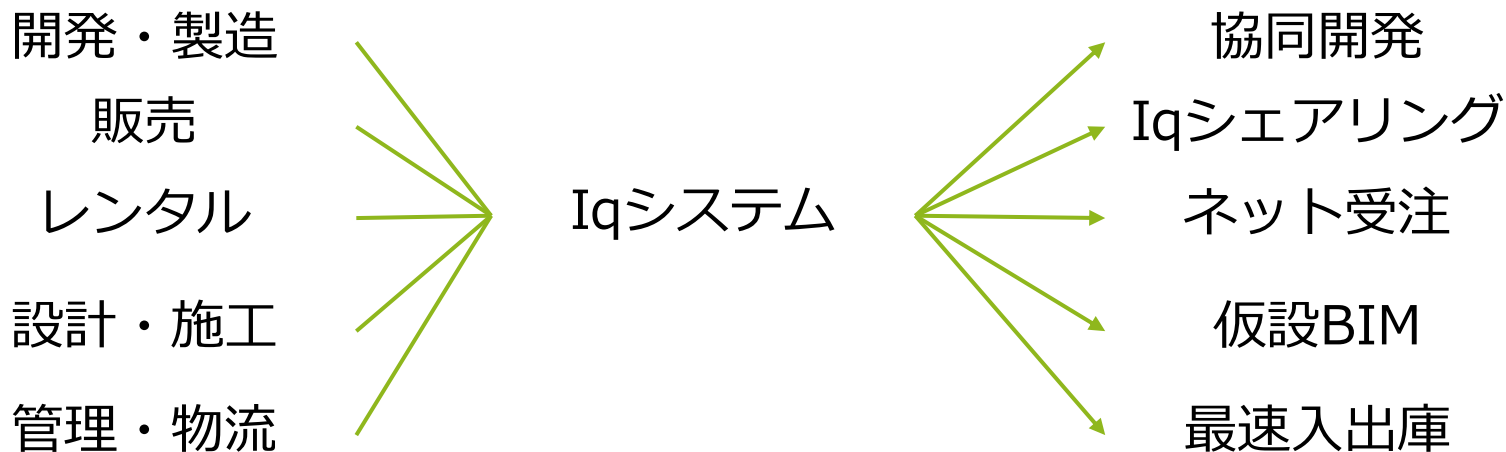
ID	Code	Name	Unit	Qty	Unit Price	Total Price	Material	Unit Price	Total Price
1	0000	4. 1階機材積算		23.8	95.0	2,261.0			
2	0001	4.1 1階機材積算		7.2	324.0	2,334.0			
3	0002	4.1.1 1階機材積算		9.5	89.0	845.5			
4	0003	4.1.1.1 1階機材積算		4.7	47.0	220.9			
5	0004	4.1.1.1.1 1階機材積算		2.0	218.0	436.0			
6	0005	4.1.1.1.1.1 1階機材積算		4.0	275.0	1,100.0			
7	0006	4.1.1.1.1.1.1 1階機材積算		2	50	100			
8	0007	4.1.1.1.1.1.1.1 1階機材積算		2.0	240.0	480.0			
9	0008	4.1.1.1.1.1.1.1.1 1階機材積算		2.0	90.0	180.0			
10	0009	4.1.1.1.1.1.1.1.1.1 1階機材積算		1.0	20.0	20.0			
11	0010	4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1 1階機材積算		1.0	180.0	180.0			
12	0011	4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1 1階機材積算		0.2	367.0	73.4			
13	0012	4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1 1階機材積算		0.2	367.0	73.4			

選択部分の部材数量を確認、CSVで出力



# ハードとソフトの融合で生まれる新サービス

5本の矢 × Iqシステム



**Takamiya Lab. から新サービスを創出**



## 2021 中期経営計画 基本戦略

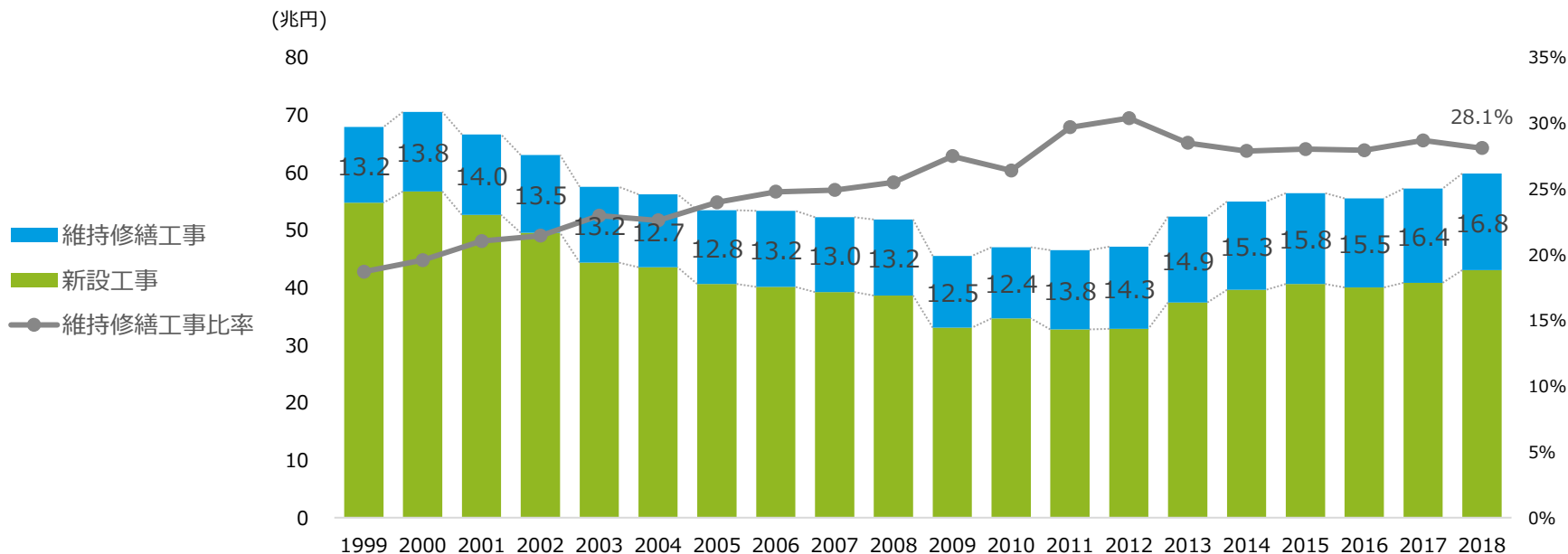
- 「I qシステム」を中心としたハードとソフトを融合したサービスの開発
- 維持補修・再インフラ向け製品の強化
- 仮設部門以外の事業育成
- 海外事業基盤の再整備





# 維持補修・再インフラ向け製品の強化

## 維持修繕工事の推移



出所：日本建設業連合会「建設業ハンドブック2020」より作成



## 維持補修・再インフラ向け戦略商品

### システム吊り棚足場「スパイダーパネル」

※当社発行「アニュアルレポート2020」より

#### Topics



スパイダーパネル

#### システム吊り棚足場の需要を支える取り組み

建設投資の流れは、新設工事から維持・改修工事へと転換し、交通インフラの修繕工事が活発になったことで、当社のシステム吊り棚足場（「VMAX」「スパイダーパネル」）への問い合わせも増えています。交通インフラ工事は長期間実施されるため需要が高く、今後数十年単位で需要が続くものと見込んでいます。しかしながら、システム吊り棚足場は高所での作業も多く、安全に作業するためには、事前に注意点を理解し、正しく施工する必要があります。当社では、安全な作業手順を広める活動として、2020年3月に「システム吊り棚足場協会」を発足させました。より安全に、そしてより効率的に施工できるよう、ソフト面からもサポートしていきます。



#### リフトクライマー

高層マンション等、  
大規模修繕工事向け  
移動昇降式足場



#### Y Tロックシステム

斜面に設置可能で構台にも  
なるシステム足場



## 防災・減災対策商品



座屈拘束ブレース  
「オクトブレース」

(直近実績)  
延べ面積約5.7万平米の鉄骨造の  
大型物流施設で採用



土のう・砂袋に換わる  
浸水防止システム「タイガーダム」

(トピックス)  
累計販売本数1400本を突破  
\*2020年12月時点

(ご参考)

国土交通省

令和3年国土強靱化関係予算案  
(基本方針)

「経済財政運営と改革の基本方針2020」に  
基づき、激甚化・頻発化する水災害、切迫化  
する大規模地震災害、いつ起こるか分からない  
火山災害等から国民の命と暮らしを守るため、  
防災・減災、国土強靱化について、ハード・ソフ  
ト一体となった取組を強力に推進する。

当初予算案

2020年度 40,455億円

2021年度 44,036億円

(対前年比：9%増)

出所：国土交通省資料より抜粋



# 仮設部門以外の事業育成

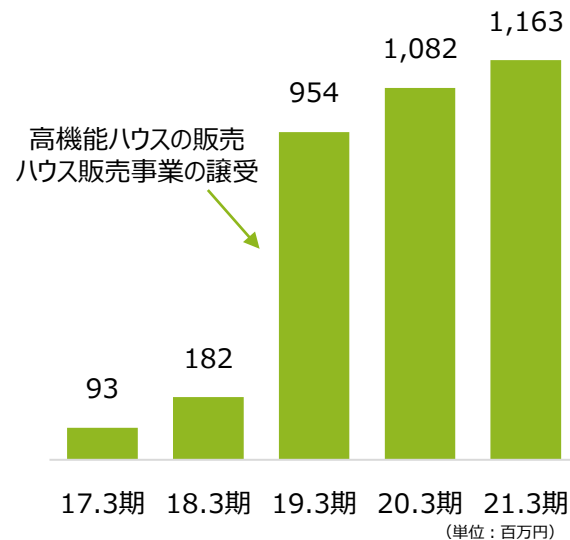
アグリ事業 羽生愛菜プロジェクト



埼玉県羽生市「羽生チャレンジファーム」内  
約3ヘクタール（借地）



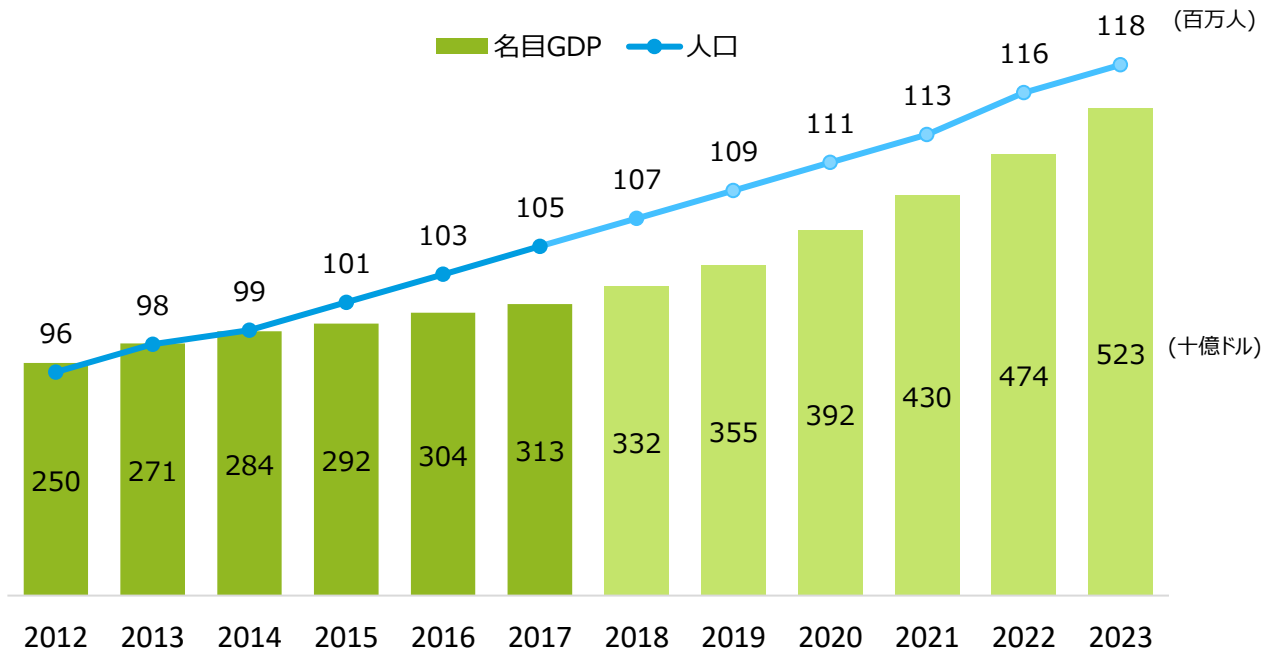
## アグリ事業売上高推移





# 海外事業基盤の再整備

## フィリピン共和国 名目GDP/人口の推移



※出所：IMF “World Economic Outlook Database” より作成／2018年以降は予測値

韓国



ホリー코리아株式会社

ベトナム



ホリーベトナム有限会社

フィリピン



DIMENSION-ALL INC.



## 中期経営計画 基本方針

### 基本方針

#### 収益基盤の多様化

- スtock型ビジネスモデルの構築
- アグリ事業の収益拡大
- 事業リソース（5本の矢）を活用した新事業の創出

#### メーカー機能の確立

- 製造体制の確立
- 製品企画・開発体制の強化

#### 経営管理体制の革新

- 全ての経営資源の生産性向上
- 業務の自動化・省力化（DX推進）
- 働き方改革の推進
- 経営と従業員とのWin-Win関係を実現

#### 海外事業基盤の確立

- 子会社管理体制の強化
- 事業戦略の再構築
- 収益基盤の構築



## 中期経営計画 投資方針・株主還元方針

### 投資方針

- 製品付加価値を高めるサービス開発(設備・システム等)投資  
(ハードとソフトを融合した新たなサービス開発)
- 持続的成長を支える人材の開発・育成投資
- デジタル化による省力化・少人化へのシステム開発投資
- 維持補修市場など拡大市場向け製品・商品への投資  
(維持補修・再インフラ向け製品の強化)

### 株主還元方針

- 事業成長による企業価値の向上
- 現状の配当水準を維持しつつ、収益に応じた配当還元を行う



## 外部環境の比較

外部環境

**2020年3月期**

アベノミクス  
震災復興需要  
インバウンド消費  
北陸新幹線  
東京オリンピック関連  
首都圏再開発

**2020年3月期 実績**  
売上高 460億円  
営業利益 37億円  
(過去最高業績)

**2024年3月期 (予想)**

再インフラ (経年化インフラの再整備)  
温暖化排出ガス削減  
アフターコロナ (ワクチン接種)  
リニア中央新幹線  
大阪・関西万博

**2024年3月期 目標**  
営業利益 50億円





## 2021 中期経営計画 経営ビジョン

### 経営ビジョン

トランスフォームにより新たな価値を創造し、お客様のパートナー企業となることで、持続的な成長を目指す。

(ストック型ビジネスモデルの構築)

### 業績目標

**2024年3月期**  
**営業利益**

\* ( )内は、2020年3月期対比

**50億円 (+35%)**



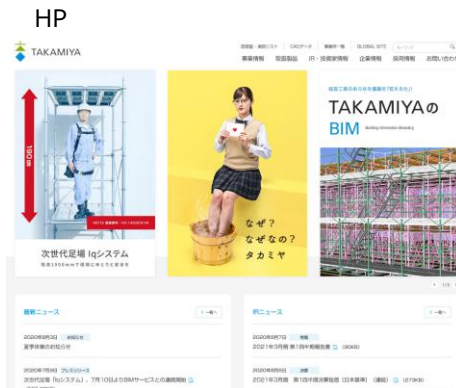
ご清聴ありがとうございました。

【ご案内】「2021 中期経営計画」は、当社ホームページ、もしくはご視聴の動画閲覧ページからダウンロードをお願いします。



# IRコンタクト

社名 : 株式会社タカミヤ  
住所 : 〒530-0011  
大阪市北区大深町3-1  
グランフロント大阪 タワーB 27階  
HP : <https://www.takamiya.co/>  
IRサイト : <https://www.takamiya.co/ir/>  
TEL : 06-6375-3918 (広報IR室 直通)  
FAX : 06-6375-8827  
担当者 : 経営管理本部 広報IR室 川畑、田村  
メール : [ir@takamiya.co](mailto:ir@takamiya.co)



## IRサイト



本資料は、当社グループに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。